



岡本眞利子 議員
(政清会)



問 新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休校に伴い、パソコンなどの情報通信技術を活用したオンライン授業が注目される一方、そうした機器や通信環境を持たない家庭への対応が課題となっている。

「GIGAスクール構想」は、全国の小中学生に1人1台のタブレット端末等と高速大容量の通信ネットワーク環境を構築する計画であり、次の点を伺う。

- (1) 本町における小中学校の通信環境の整備状況と今後の整備計画は。
- (2) 国が示す導入スケジュールに対応可能か、使用開始の予定は。
- (3) 教員用パソコンの整備は。
- (4) 情報モラル、有害情報への対策は。

教育長 (1) 6月12日から全ての学校で校内通信ネットワーク環境整備工事を開始し、来年2月15日までに完了の予定で進めている。この工事により校内無線LANとインターネットへのアクセス環境

問 「GIGAスクール構想」実現に向けての取組は

答 本年度中の端末導入、来年度からの使用開始を目指す

が整備され、1人1台の端末を前提とした高速大容量の通信ネットワーク環境が形成される。

国では新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、休業が長期化し教育課程の実施に支障が生じるなどの緊急事態においても、ICT（情報通信技術）の活用により、全ての子どもたちの学びを保障できる環境を本年度中に整備するよう計画を前倒しした。

本町では、端末等に関する情報収集を行い、本年度中の端末導入、来年度からの使用開始を目指し進めたい。

(3) 教職員用のパソコン更新は、購入後6年経過を目安として更新することとしている。今後も計画的に更新を行うことにより、最適な環境整備を目指す。

(4) 各学校では、道徳の時間などに、インターネットの適切な活用の仕方や情報モラルの指導と合わせて、個人情報流出や有害情報の閲覧、SNSを使った犯罪などインターネットの危険性について、

児童生徒の発達段階に応じた指導に取り組んでいる。

再質問 国の計画前倒しを受け、全国一斉に整備が進む。コロナの影響で端末の安定生産や供給が厳しい中、安価で良質な端末の調達が可能なのか。

答 端末については全国で相当な台数が見込まれる。確実に導入されるのかどうか、入札などの所定の手続を進める中で、年度内の整備に向け準備を進めている。

問 就職氷河期世代の支援を

答 全ての年代の求職者に対しきめ細かな対応に努める



30〜40歳代半ばとなって、いる就職氷河期世代は、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行ったため、様々な課題に直面している。さらに近年は支援対象者の高齢化が進行しているため



- 早期に支援体制を強化するべきであり、次の点を伺う。
- (1) 支援対象者の実態把握やニーズ調査の実施は。
 - (2) 就職氷河期世代からの相談件数、対応状況は。
 - (3) アウトリーチ型支援体制は。
 - (4) コロナ禍での就職相談状況は。
- 町長** (1) 本年1月に実施した事業所雇用実態調査では、35〜49歳の従業員で非正規雇用の割合は、36・3%となっている。
- (2) 町では、いわゆる就職氷河期世代からの相談は現在まで受けていない。
- (3) 必要に応じて福祉課職員が自宅訪問による相談支援を行っている。
- (4) 新型コロナウイルス感染症の拡大により、就職氷河期世代だけでなく幅広い年代で求職者が増えていく状況にあり、全ての年代の求職者に対してきめ細かな対応をするよう引き続き努める。